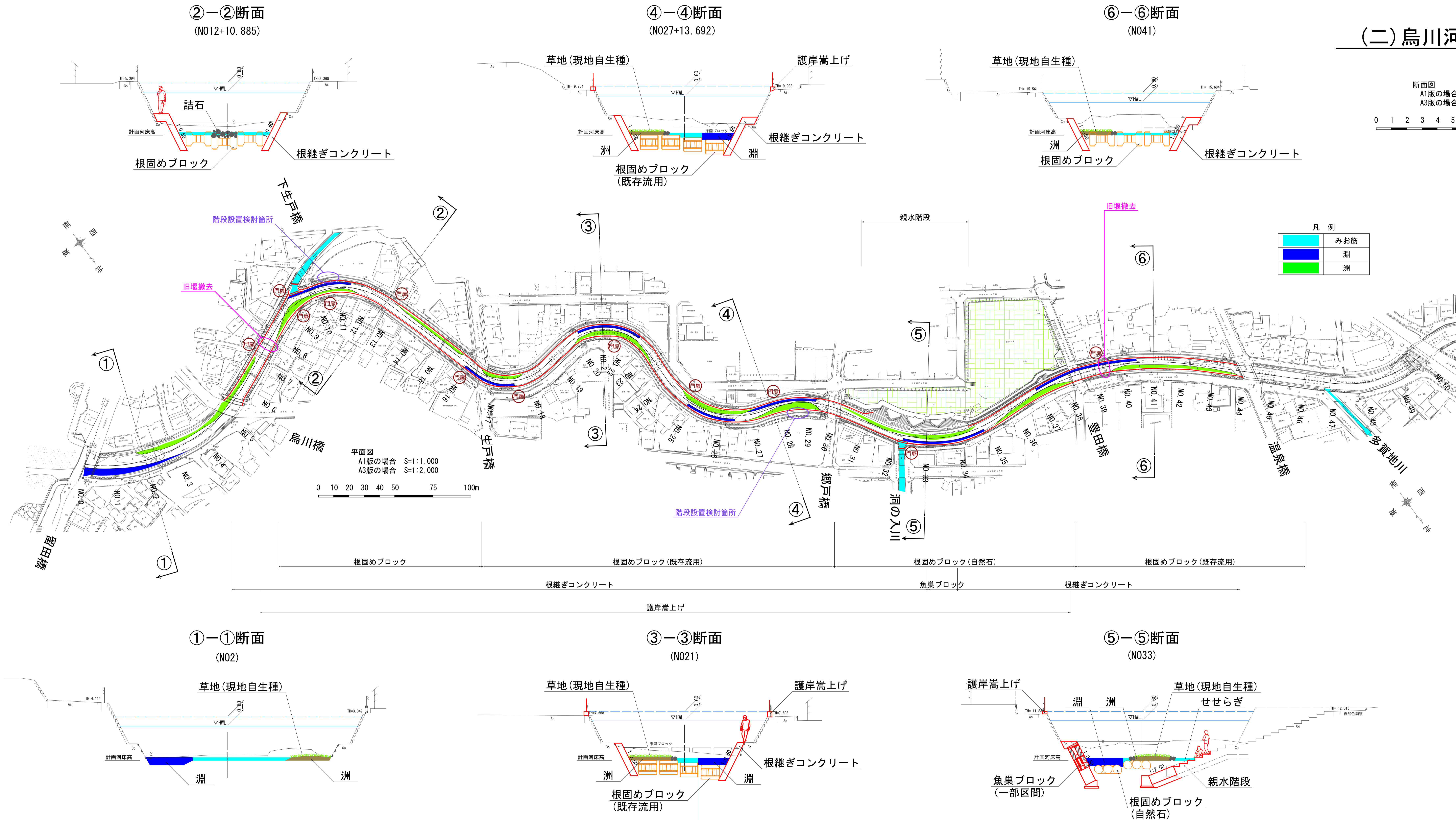


(二) 烏川河川整備計画参考イメージ図



断面図
A1版の場合 S=1:1,000
A3版の場合 S=1:200

平面図
A1版の場合 S=1:1,000
A3版の場合 S=1:2,000

断面図
A1版の場合 S=1:100
A3版の場合 S=1:200

この表は第1回説明会（10月13日コミセン）及び現地意見交換会（11月19日）を経てまとめたものです。

環境に関する内容	みなさまからのご意見	<ul style="list-style-type: none"> 川の生態を守る工法を使ってほしい。 魚や水生植物が生息しやすい環境づくりをお願いしたい。 出来る限り自然環境が生かせる工法でやって頂きたい。 全面護床(コンクリート)にせず、可能な限り自然石を使ってもらいたい。少なくとも河床中央部だけでも自然石で。 河床のコンクリートは、基本的に除去すること。
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 洪水時に河床が掘られて護岸が壊れてしまうことを防ぐために、根固めブロックを設置しましたが、できるだけ客土で覆う、淵の底に沈める、自然石などの自然な材料とするよう配慮しました。 郷戸公園の一部区間ではありませんが、魚巣ブロック(※1)を設置しました。 ※1 主に魚類の生息や避難場所を提供することを目的として人工的に設置する工作物。
親水に関する内容	みなさまからのご意見	<ul style="list-style-type: none"> 親水空間を出来るだけ確保してほしい。 階段をつくる努力をしてほしい。 下生戸橋のたもとにある三角地を階段設置に利用してはどうか。 階段を張り出して、その分河床を下げてはどうか。
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 新しく設置する根継ぎコンクリートを、現在の根継ぎコンクリートの高さと同揃えることにより、歩きやすくしました。 現在護岸に設置されているステップの位置に門扉を設置します。 郷戸公園の親水階段は、今まで通り利用できるようにしました。 新しく設置する階段は、川の敷地内だけではできませんので、沿川の方々とお話し合いを通じて可能性を検討していきたいです。
取水に関する内容	みなさまからのご意見	<ul style="list-style-type: none"> 取水路を街のせせらぎ(希釈水)として残してほしい。
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 残した場合の管理方法も含め、現在残せるかどうかを検討しています。
治水に関する内容	みなさまからのご意見	<ul style="list-style-type: none"> 流れがよくなるように、すぐに石をすくえるようにしてほしい。
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 現在の護岸はそのまま残し、河床を掘削(根継ぎコンクリートを設置)することにより、現在の流下能力60m³/secから100m³/secへ流下能力が向上します。また、河床掘削だけでは能力が足りない区間は護岸を嵩上げします。

※ 今後、このイメージ図を基に、詳細設計を進めます。技術的見地により、変更になる場合があります。平成24年 3月 1日